

第 4 学年 音楽科学習指導案

〈授業構想のポイント〉

①(学習課題に対する問題意識を高めるための手立て)

前時までに、「パレード ホッホー」で二つの異なる曲想の旋律の特徴をつかみ、その旋律の特徴の違いを生かした歌い方の工夫のみを行っている。本時では、すぐに続きの異なる旋律の重なる部分の歌い方の工夫をグループ活動で行わせる。

しかし、旋律の特徴の違いを生かした歌い方の工夫と同じまま、重なる部分を歌うグループがあると予想されるので、児童に、より曲想にふさわしい表現を工夫させ、思いや意図をもって学習に進んで取り組ませたい。そこで、重なる部分の工夫だけではなく、楽曲の構造を考えたつなげ方の工夫を入れることにより、さらに変化に富んだ「パレード ホッホー」にするにはどうしたらよいかという「学習課題」を設定する。

②(主体的・協働的な学習を促す手立て)

学習課題設定後、三つのグループに分け、もっと二つの旋律を重ねたりつなげたりする面白さを考えさせ、練習する時間を確保する。「子どもの世界」（歌詞と歌詞・歌詞とスキャット）や「世界に一つだけの花」（歌と楽器・大勢とソロ）の既習した活動を生かしたり、1 時間目で学んだアとイの旋律を生かした身体表現をしたりすると予想される。しかし、なかなか工夫を考えられないでいるグループには、他のグループの工夫を聴きに行かせたり、学習の足跡の掲示物に注目させ、今までの学習経験を生かしたりすると良いことをアドバイスする。そして、各グループによる工夫を考えた活動の発表会をさせる。発表するグループは、工夫を一つだけ言ってから演奏する。聴いている児童には、その他の工夫を見つけさせたい。

このいろいろな形態で歌い方を考える活動により、児童が異なる曲想をもつ二つの旋律を重ねたりつなげたりする面白さを感じ取りながら、意欲的に歌ったり聴いたりすることができる考えた。

1 題材名 せんりつの重なりを感じ取ろう

教材曲 「パレード ホッホー」「ファランドール」（鑑）

「雨の公園」「ハッピー バースディ トゥ ユー」「もみじ」

2 題材の目標

- ・ 旋律が重なり合う響きを感じ取りながら、旋律の特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫したり、互いの歌声を聴いて声を合わせて歌ったりする。
- ・ 旋律の特徴、旋律の反復や重なりによる曲想とその変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く。

3 題材の指導計画（全 8 時間）

第 1 次 「パレード ホッホー」「ファランドール」（4 時間）

第 2 次 「雨の公園」「ハッピー バースディ トゥ ユー」（2 時間）

第 3 次 「もみじ」（2 時間）

4 本時の計画（4 時間目／全 8 時間）

（1）本時のねらい

異なる曲想をもつ二つの旋律について、いろいろな形態で歌い方を考える活動を通して、歌ったり聴いたりする学習に意欲的に取り組もうとする。

【共通事項】ア(ア)旋律、音の重なり、音色、強弱 (イ)変化

イ スタッカート、二分音符、Vなどの記号

(2) 本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される児童の反応	■評価・○留意点
<p>1 グループに分かれ、二つの旋律の重なる部分を工夫する。(5)</p>	<p>T 1 この前は、「パレード ホッホー」の二つの旋律の特徴に合う歌い方の工夫をしたのでしたね。どんな感じの旋律がありましたか。</p> <p>C 1 アははずんだ感じで、イはなめらかな感じでした。</p> <p>T 2 そうでしたね。では今日は、早速アイの重なった部分の歌い方の工夫をしましょう。</p> <p>C 3 3つのグループに分かれて話し合いを始める。</p> <p>T 2 その後、ピアノで集合をかける。</p> <p>T 3 みんなの活動を観ていたら、最初の時に考えたア-イの工夫をそのまま、アイの重なった部分でもしているグループや悩んでいるグループがありました。同じ繰り返しの工夫で面白いかな？</p> <p>C 2 ちょっとつまんない。</p> <p>C 3 どう工夫していいか、分からない。</p> <p>T 4 既に新しい工夫をしているグループもありますが、もっとかっこいい「パレード ホッホー」にするには、二つの旋律をどのように重ねたりつなげたりするといいいかな？</p> <p>C 4 えっ、つなげ方も工夫していいの？</p>	<p>○既習の掲示物でア-イ-アイの楽曲の構造を確認する。</p> <p>○あえて「どんな歌い方の工夫か」「何分間の活動時間」かの明言を避け、活動に入らせる。</p> <p>○グループを回りながら工夫の様子を見取り、自分たちの工夫が固まらないように、早い時点でストップをかける。</p>
<p>2 学習課題を把握する。(5)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈学習課題〉 もっとかっこいい「パレード ホッホー」にするには、二つのせりりつをどのように重ねたりつなげたりするといいいかな？</p> </div> <p>T 5 イで追いかけてっこ(問いと答え)の工夫をしていたグループは、ア-イ-イ-アイと書いてもいいですね。なので、もっとかっこいい歌にするために、今までの工夫だけではなく、挑戦したいグループはアとイのつなげ方を工夫するのでもいいことにしましょう。</p> <p>C 5 やったー。</p> <p>T 6 ただし、いたずらに重ねたりつなげたり長くしたりするのではなく、時間内に話し合いと発表の練習がおさまるようにします。そこで、条件は3つ。①歌詞は1番だけとする。②アイの付箋紙を台紙に貼り、楽曲の構造が分かるようにする。③工夫を書き込む。ことにしましょう。それでは、2時半になったら発表タイムです。では、活動開始。</p>	<p>○画用紙の台紙に、アと書いたピンクの付箋紙(大判)とイと書いた水色の付箋紙(大判)を貼り、見本を提示する。</p> <p>○今までの工夫=記号(スタックカート・二分音符・V)、身体表現(手拍子・足踏みなど)、問いと答え(追いかけてっこ)、音色(歌・楽器・歌詞・階名唱・スキヤット「トゥ」「パ」「ラ」など)、強弱(人数)のヒントカードを黒板に貼る。</p> <p>○話し合いに時間を取り過ぎているグループには、工夫を精選させ歌の練習時間を確保するよう促す。</p> <p>○話し合いが停滞しているグループには、今まで学習した足跡の掲示物や黒板に貼ったヒントカードを振り返らせる。</p>
<p>3 グループに分かれ、二つの旋律の重ね方やつなげ方を工夫する。(15)</p>	<p>C 6 アを歌詞で、イを「ル」で合わせてみよう。 (音色)(変化)</p> <p>C 7 アを男子で歌い、イを女子で歌おう。 (形態)(変化)</p> <p>C 8 アを強く歌い、イを弱く歌ってみよう。 (強弱)(変化)</p>	<p>○時間に余裕のあるグループにだけ、つなげ方を工夫してもよいことを強調する。</p> <p>○各グループに音出し係(鍵盤ハーモニカ)とカウント係(指揮)・記録係・説明係など必要な仕事分担をさせる。</p>
<p>4 グループごとに、工夫の説明と発表をする。(12)</p>	<p>C 9 イは、追いかけてっこにして、反復させたい。 (反復)(変化)</p> <p>T 7 では、発表してもらいます。発表する人は、工夫を一つだけ絞って言ってください。聴いて</p>	<p>○工夫を書いた台紙は、譜面</p>

<p>5 学習のまとめをする。(3)</p> <p>6 振り返りをする。(5)</p>	<p>いる人は、その他にも工夫がないかよく聴きます。</p> <p>C10 1グループは、アを歌詞で、イを「ル」のスキヤットで音色を変えて合わせました。聴いてください。(発表をする。)</p> <p>T8 1グループの音色以外の工夫に気付いた人はいませんか？</p> <p>C11 アでは、はずんだ感じにするために手拍子で身体表現をしていました。</p> <p>T9 よく聴いていましたね。では、2グループお願いします。</p> <p>C12 2グループは、アを男子がイを女子が歌う形態を工夫しました。聴いてください。(発表をする。)</p> <p>T10 2グループの形態以外の工夫に気付いた人はいませんか？</p> <p>C13 アの部分をスタッカートを生かしておなかで切って歌っていました。</p> <p>T11 よく聴いたり観たりしていましたね。では、3グループお願いします。</p> <p>C14 3グループは、イは、追いかけてこにして、問いと答えにする工夫をしました。きいてください。(発表をする。)</p> <p>T12 3グループの「問いと答え」以外の工夫に気付いた人はいませんか？</p> <p>C15 アイの部分を反復させて歌っていました。</p> <p>T13 よく聴いていましたね。皆さんの発表を聴いたら、どのグループもかっこよくなりました。それにはいろいろ工夫がありましたね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈まとめ〉 もっとかっこいい「パレード ホッホー」にするには、二つのせんりつにいろいろな変化(音色・強弱・形態・楽曲の構造など)をつけて重ねたりつなげたりするといいい。</p> </div> <p>T14 振り返りをしましょう。</p> <p>C16 グループでアとイのせんりつを3回も重ねたりつなげたりして歌ったので、かっこよくなりました。</p> <p>C17 イの部分を「問いと答え」になるように工夫して歌ったので、パレードの楽しい感じを出すことができました。○グループが、アの「パラタタ」の部分を手拍子をしながら歌っていて、強弱やはずんだ感じがよく表現されていました。</p>	<p>台に乗せ、発表のグループだけが見える状態とする。発表後、聴いている人たちからの気付きが出た後、答え合わせとして黒板に貼る。</p> <p>○教師のピアノ伴奏で歌わせる。</p> <p>○「音楽を特徴付けている要素」が児童の言葉や文字で現わされていない時は、教師がフォローして言い、マグネットカードを貼る。</p> <p>■グループ発表で、自分たちが工夫した歌い方を分かるように歌ったり、他のグループの工夫に気付いて聴いたりしている。</p> <p>【関 表情観察、演奏観察、発言内容】</p> <p>○三つのグループ発表時に板書した「音楽を特徴付けている要素」のマグネットカードを参考に発表させ、すぐにまとめたい。</p>
---	---	--

(3) 本時の評価

異なる曲想をもつ二つの旋律について、歌ったり聴いたりする学習に意欲的に取り組もうとしていたか。 【関 表情観察、演奏観察、発言内容】

＜判断する具体の姿＞

- グループ発表で、自分たちが工夫した歌い方で、歌っている。
- 他のグループ発表を聴いて、具体的に工夫したところを見付けることができる。

5 板書計画

<p>「パレード ホッホー」</p> <p>〈今までの工夫〉</p> <p>記号 (スタaccart・V)</p> <p>身体表現 (手拍子・足踏みなど)</p> <p>問いと答え (追いかっこ)</p> <p>音色 (歌・楽器・歌詞・階名唱・スキヤット「トゥ」「パ」「ラ」など)</p> <p>強弱 (人数)</p> <p>音符 (二分音符)</p> <p>歌い方 (お腹に力を入れて切って歌う。)</p> <p>フレーズ (歌詞のまとまりに気を付ける。)</p>	<p>〈学習課題〉 もっとかっこいい「パレード ホッホー」にするには、二つのせんりつをどのように重ねたりつなげたりするといいいかな？</p> <p>【1グループ】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ア - イ - アイ</p> <p style="font-size: small;">(スタaccart (追いかっこ) (歌詞と「ル」) にアクセント)</p> </div> <p>記号 ◎ 問いと答え ◎ 音色 → 変化</p> <p>【2グループ】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ア - イ - アイ</p> <p style="font-size: small;">(スタaccart (V・歌詞のまとまり) (男声と女声) を強めに)</p> </div> <p>記号 記号 フレーズ ◎ 形態 → 変化</p> <p>【3グループ】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ア - イ - アイ - アイ</p> <p style="font-size: small;">(スタaccart) (二分音符・V) (繰り返す) (お腹に力を入れて切る)</p> </div> <p>記号 音符 記号 ◎ 反復 → 変化</p>	<p>〈まとめ〉 もっとかっこいい「パレード ホッホー」にするには、二つのせんりつにいろいろな変化(音色・強弱・形態・楽曲の構造)をつけて重ねたりつなげたりするといいい。</p>
---	---	---

(ワークシート) (/) 「 」

名前

大変よくできた 大変がんばった	よくできた がんばった	あまりでき(がん ばら)なかった	全然できなかった がんばらなかった

【ふり返り】
